



TITLE:

天象

AUTHOR(S):

CITATION:

天象. 天界 1936, 16(183): 370-371

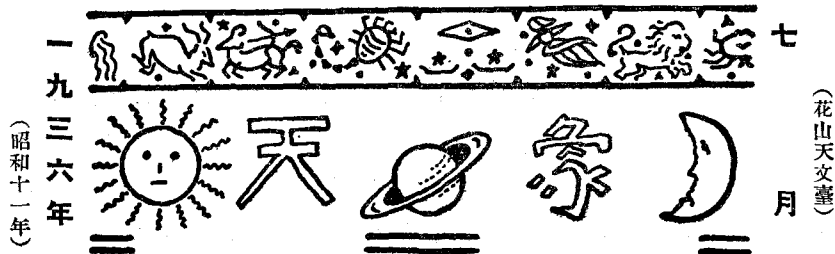
ISSUE DATE:

1936-06-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167256>

RIGHT:



I——太陽と月 (天空の明暗)

日付	日出 (星座)	日没	日付	夜半の月 日 時 分	月 出 (星座)	月 没
日	時 分	時 分	日	時 分	時 分	時 分
1	4:46 (ふたご)	19:15	1	11.8 16:13 (てんびん)	1:24	24:17
6	4:48 "	19:14	2	12.8 17:10 (さそり)	3:6	2:17
11	4:51 "	19:13	3	13.8 18:3 (へびつかひ)	4:2	3:6
16	4:54 "	19:11	4	14.8 18:52 (いて)	5:3	4:2
21	4:58 (かに)	19:8	5	15.8 19:37 "	6:7	5:3
26	5:1 "	19:5	6	16.8 20:17 (やぎ)	7:13	6:7
31	5:5 "	19:1	7	17.8 20:54 (みづがめ)	8:19	7:13
			8	18.8 21:28 "	9:26	8:19
			9	19.8 21:59 (うそ)	10:33	9:26
			10	20.8 22:32 "	11:40	10:33
			11	21.8 23:7 "	12:48	11:40
			12	22.8 23:45 (ひつじ)	13:56	12:48
			13	23.8 — "	15:4	13:56
			14	24.8 0:28 "	16:9	15:4
			15	25.8 1:27 (をうし)	17:9	16:9
			16	26.8 2:12 "	18:1	17:9
			17	27.8 3:13 "	18:46	18:1
			18	28.8 4:16 (ふたご)	19:25	18:46
			19	0.4 5:21 "	20:0	19:25
			20	1.4 6:23 (かに)	20:30	20:0
			21	2.4 7:24 "	21:25	20:30
			22	3.4 8:22 (しし)	22:21	21:25
			23	4.4 9:20 (ろくぶんぎ)	23:30	22:21
			24	5.4 10:16 (しし)	—	23:30
			25	6.4 11:12 (をとめ)	0:10	—
			26	7.4 12:7 "	0:57	0:10
			27	8.4 13:4 "	1:49	0:57
			28	9.4 14:1 (てんびん)	—	1:49
			29	10.4 14:58 "	0:10	—
			30	11.4 15:52 (さそり)	0:57	0:10
			31	12.4 16:42 (へびつかひ)	1:49	0:57

II——天象

日 時	
3, 3	木(北20°)と月と合
3,	地球が遠日點
4,	土星が停留
5, 2	部分月食
10, 10	土(南8°)と月と合
16, 2	水(南0.2°)と火と合
24,	水星が外合
30, 8	木(北2°)と月と合

II——天象

日 時	
3, 3	木(北20°)と月と合
3,	地球が遠日點
4,	土星が停留
5, 2	部分月食
10, 10	土(南8°)と月と合
16, 2	水(南0.°2)と火と合
24,	水星が外合
30, 8	木(北2°)と月と合

満月 7月5日 2時35分
 新月 7月19日 0時19分

下弦 7月12日 1時28分
 上弦 7月26日 21時36分

主な流星群

日付	赤經	赤緯	附近の星	性質
6月—8月	333°	+28°	ベガ 天座	速、痕短
6月—8月	313°	+24°	小 狐 座	速、痕短
中 旬	317°	+31°	白 鳥 座	速、痕短
29日—	339°	-11°	水 瓶 座	速、痕短
15日} 輻射點	15°	+49°	ペルセウス座	速、痕短
31日} 移動	32°	+54°	ペルセウス座	速、痕短

遊 星 界 (7月)

水星 牡牛星座の東部から蟹星座の東部まで、東へ東へと移動する星。位置は暁の東の空。朝寝坊には縁はないが、真冬の星星と共に見られるのであるから、上旬の好期を、眼をこすりながらでも見ては如何？ オリオンと駭者との間に負1等星として輝く。月末はダメ。やがて宵の星となる。

金星 あまりに太陽と仲が好すぎる星。しかし、位置は宵に廻つて來た。これから段段見易くなるからたのしみがある。今年は涼臺から見られないのが惜しい。

火星 まだ太陽に近いから見られない。位置は双子星座。

木星 この頃親しまれる唯一の遊星である。日没と共に南天の銀河の中に燦として輝く。赤いアンタレス星とならび、光度負2等星。殆んど停止状態。

土星 暁の星とはいふものの早く見られるやうになつた。微かに細い輪の存在をたのしむとして待機する天文愛好家には、木星を西天に送るとこの星がいとしまれる。位置は水瓶星座と魚星座との境界、春分點に近い。

天王星 羊星座にある暁の星。光度も6等以下。土星よりもおそく上る。まだ觀望の好期ではない。

海王星 宵の星。位置は獅子星座。太陽に近づいてゐるから、觀望は今のうち。光度7.8等。

冥王星 双子星座にある。光度15等級。

星座 西に近づいた春宵の傑作レグルス、アクトウルとスピカの直角三角形は名残りおしいが、地上の暑を忘れさせる夏の星座も素晴らしい。

銀河は東天に高く、南北に流れて、蠶座のアルタイルと琴座のヴェーガとが、其の兩岸に美しいロマンスを囁き、一羽の白鳥が頸を長く延し乍ら、軽く飛んで行く。

南には「鶏血を滴らせた色」にアンタレスを主星とした蝸座がわだかまり、天頂には牛、冠、天頂近くにはヘルクレス、蛇遣ひの巨人が煌く。